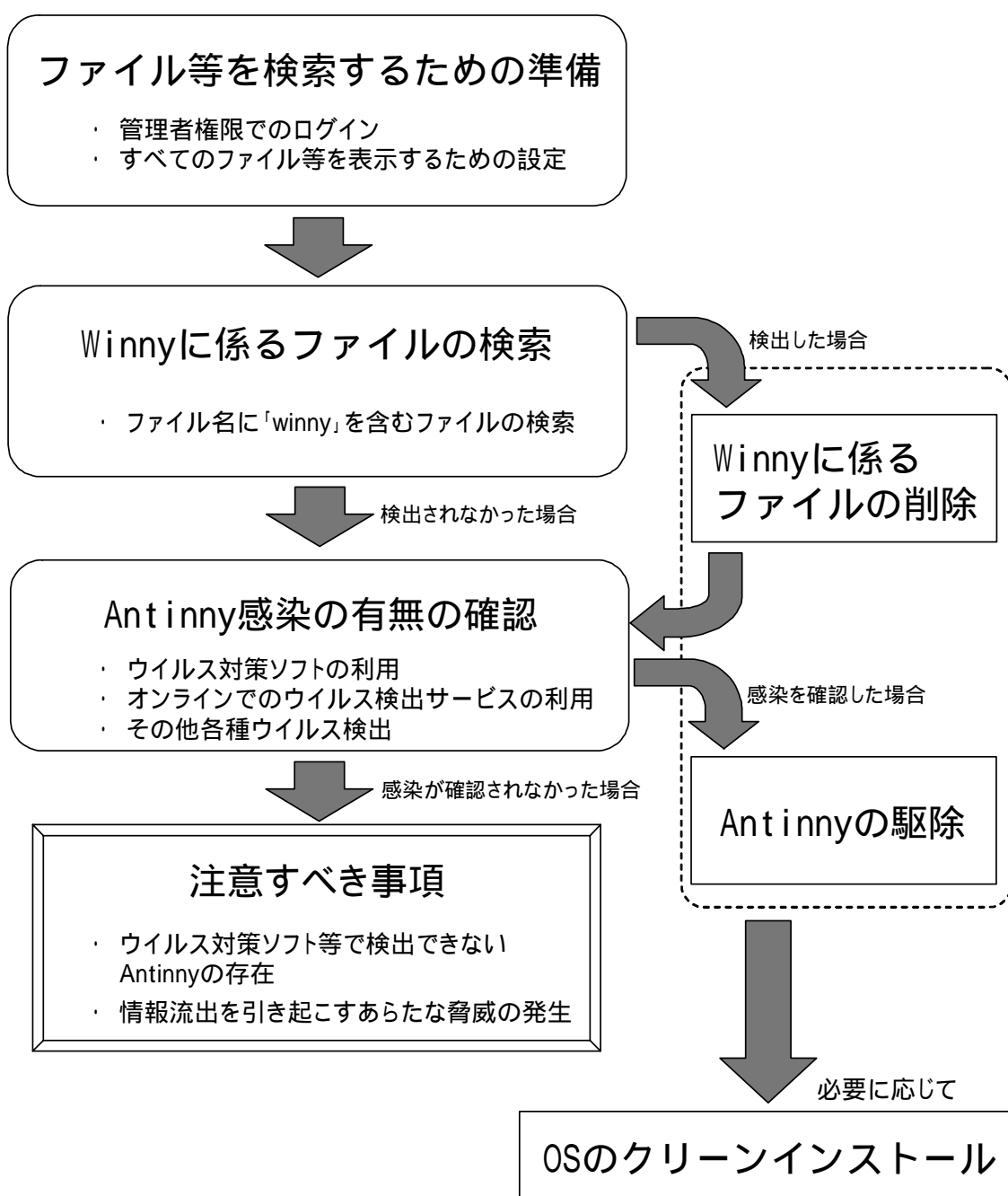


平成 18 年 3 月 15 日
平成 18 年 3 月 17 日更新

Winny 及び Antinny の検出・削除方法等

ファイル交換ソフトウェア Winny の存在やコンピュータウイルス (Antinny) の感染の有無を確認し、対処する際の作業の流れを以下に示します。また、各項目における実施事項の詳細については、「Winny 及び Antinny の検出・削除方法等の具体的手順」に示します。

なお、コンピュータウイルスは、その種類により、検出や削除の方法等が異なるため、以下の方法は、すべてのコンピュータウイルスに対して有効な手段ではないことに留意して下さい。



Winny 及び Antinny の検出・削除方法等の具体的手順

ファイル等を検索するための準備

(隠しファイル等を表示するための設定: [別添1](#)を参照)

Winny 及び Antinny の検出・削除を確実にを行うためには、パソコンに記録されたすべてのファイルを検索対象にする必要があることから、管理者権限(ソフトウェアのインストール等を自由に行う権限)でログインする必要があります。

また、Windows では、隠しファイル、隠しフォルダ等を表示しない設定とされていると、これらを検索対象から除いてしまいます。Antinny に感染することにより作成されるファイルは、隠しファイル等にされていることが多いため、それらを検索するためには、すべてのファイルを検索対象とするための設定を行う必要があります。

さらに、実行形式のファイルを他の形式に偽装したウイルスを見分けるために、ファイルの拡張子についても、表示するように設定しておくことが望まれます。

Winny に係るファイルの検索 Winny に係るファイルの削除

(Winny に係るファイルの検索方法: [別添2](#) 及び [資料5](#)を参照)

パソコンに記録されたすべてのファイルを対象として、ファイル名に「Winny」を含むファイルの有無を確認します。Winny はパソコン上のどこにあってでも使用することができることから、パソコン本体上のハードディスクに限らず、外部記憶装置についてもその存在の有無を確認してください。存在を確認した場合には、ファイル名に「Winny」を含むファイル⁽¹⁾ 及び関連すると思われるファイルを削除してください。

Antinny 感染の有無の確認 Antinny の駆除

(コンピュータウイルスの検知・駆除に係る対策参考リンク: [資料5](#)を参照)

パソコンにウイルス対策ソフトを導入している場合は、パターンファイルを更新した上でパソコン(外部記録装置を含む。)に記録された全ファイルに対してウイルスチェックを実施することにより、当該パターンファイルが検出対象としている Antinny を検出することができます。

一方、パソコンにウイルス対策ソフトを導入していない場合でも、一部のウイルス対策ソフトメーカーのウェブページ上では、コンピュータウイルスを検出することができるサービスが提供されており、これを利用することにより、当該サービスが対象とする Antinny を検出することができます。しかしながら、このサービスではコンピュータウイルスの検出はできても、それを駆除することはできない場合がほとんどです。そのため、Antinny の感染を確認した場合には、ウイルス対策ソフトを利用するなどして、駆除を行う必要があります。

なお、ウイルス対策ソフト等により検出することができるコンピュータウイルスの範囲が異なり、検出することができない Antinny もあることから、ウイルス対策ソフト等を過信しないようにしましょう。

OS のクリーンインストール

Winny を使用した形跡又は Antinny の感染等が確認された場合には、当該パソコンには情報流出の危険性があります。また、上記の対策を実行したとしても、ウイルス対策ソフト等では検出することのできない Antinny もあるため完全に情報流出のおそれがないとは言いきれません。そのため、OS のクリーンインストールを実施⁽²⁾することが望まれます。

- 1: 「Winny.exe」及びインストールに使われたファイル名に「Winny」を含む名称の圧縮ファイル(例: 「Winny2b71.zip」)を削除する必要があります。その他のファイル名に「Winny」を含むファイルについては、適宜、削除の必要性を検討して下さい。
- 2: クリーンインストールの実施においては、OS がインストールされていないドライブに Antinny が残されているおそれがあることにも留意して下さい。